

桃山東小だより～後期学校評価アンケート結果について～

ホームページ 検索→「桃山東小学校」 URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/momoyamahigashi-s/>
TEL 075-621-1411 FAX 075-621-1422

令和6年3月12日
京都市立桃山東小学校
校長 河原 雅春

1: そう思う 2: 大体そう思う 3: あまりそう思わない 4: そう思わない

平素は本校教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。遅くなりましたが、後期の学校評価アンケートの結果を考察いたしました。
結果と考察を生かしてよりよい学校づくりに努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

【確かな学力】

	設問項目	児童				保護者				教職員			
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
1	学校の勉強がわかる 学習したことが定着している	59	34	5	2	33	56	8	3	24	76	0	0
2	自分の意見や考えを進んで話すことができている	38	37	20	5	33	48	17	2	29	59	12	0
3	人の意見や考えをしっかり聞くことができている	57	36	6	1	31	54	14	1	18	70	12	0
4	家庭学習の習慣が身についている	54	29	12	5	35	43	18	4	35	47	18	0
5	進んで本を読むことができている	46	26	20	8	29	25	30	16	18	70	12	0
6	忘れ物をせず、学習の準備をすることができている	45	44	8	3	24	49	21	6	23	71	6	0
7	自分で学習の計画を立てて取り組むことができている	36	38	17	9	19	40	30	11	12	76	12	0

【豊かな心・健やかな体】

	設問項目	児童				保護者				教職員			
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
1	学校に楽しく通うことができている	68	22	5	5	64	31	4	1	59	41	0	0
2	進んで気持ちのよい挨拶ができている	62	33	4	1	34	46	18	2	59	41	0	0
3	自分も周りの人も大切にすることができている	46	34	14	6	50	45	5	0	53	47	0	0
4	(自分・子どもには)よいところがあると思う	42	34	15	9	88	12	0	0	59	41	0	0
5	難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している	45	37	14	4	23	51	22	4	65	35	0	0
6	学校や社会のルール、約束を守って行動することができている	49	42	8	1	56	39	5	0	41	59	0	0
7	丁寧な言葉づかいで話すことができている	43	37	15	5	25	56	16	3	29	65	6	0
8	早寝・早起きなど、規則正しい生活を送ることができている	39	34	19	8	31	47	19	3	12	76	12	0
9	進んで外で遊んだり体を動かしたりしている	59	23	13	5	40	36	21	3	41	24	29	6

【学校・家庭・地域のとの連携】

	設問項目	児 童				保 護 者				教 職 員			
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
1	気軽に質問や相談しやすい雰囲気になっている	50	34	11	5	32	55	11	2	47	53	0	0
2	学校だより・学校ホームページから学校の教育方針や学校の様子がよくわかる	63	23	9	5	31	60	8	1	6	71	23	0
3	交通ルールを守り、安全に気をつけて行動することができている	64	28	6	2	47	49	4	0	65	35	0	0
4	交流学習、地域 PTA 行事等を通して、地域・家庭・学校とが連携することができている	50	28	14	8	20	61	16	3	6	88	6	0

【全体を通して】

10月に実施した前期学校評価と比べてみても、評価の大きな変化はありませんでした。ただ、児童評価において、「4:そう思わない」という回答が多くなっています。子どもたちの困りや課題に気づき、寄り添えているのか、今一度学級や学校での様子や取組の在り方を見つめ直していきたいと思います。

【確かな学力について】

「自分で学習の計画を立てて取り組むことができている」の設問に対し、児童の26%、保護者の41%が「そう思わない」「あまりそう思わない」という回答でした。学校教育目標「今を大切に 夢に向かって 自ら学び 共に学び合う子」の「自ら学び」には、自分の未来を切り拓くために、課題解決に向けてどのように考え、どのようにアプローチするのか、主体的に学んだり、実践を重ねたりするという意味が込められています。子どもたちが「学ぶ喜び」「わかる楽しさ」を感じ、さらに自分にとって必要な学習は何か考え、取り組んでいけるよう今後も働きかけを行っていききたいと思います。ご家庭でも、家庭学習の際に、計画立てて学習できるようお声かけをいただきますようお願いします。

また、「人の意見や考えをしっかりと聞いている」という設問に対しては、児童の7%、保護者の方の15%、教職員の12%が「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答しています。学校は、子どもたちが共に学ぶ場です。互いの思いや考えに耳を傾けたり、アイデアを練り合ったりしながら、学習を展開していきます。「聞くこと」は、「話すこと」同様、人と人を結ぶ大切なことです。今後も、様々な教育活動の中で思いや考えを伝えあい、交流する場の設定を行い、支援していききたいと思います。

【豊かな心・健やかな体について】

「進んで気持ちのよい挨拶ができている」という設問では、前期に比べ、若干ではありますが、「できている」と回答している児童が増えました。児童会を中心にあいさつ運動を展開し、あいさつキャラクターの募集・命名など全校児童を巻き込み、楽しみながら取組を進めています。挨拶は、相手がそこに存在していることを認める言葉、人と人をつなぐ言葉です。相手意識をもった挨拶がもっと広がっていくように、今後も支援していききたいと思います。

「（自分・子どもには）よいところがあると思う」という質問では、保護者・教職員の100%が「そう思う」「大体そう思う」と回答しているのに対し、24%の児童が「そう思わない（「あまりそう思わない」を含む）」と回答しています。自分に自信をもつことができているのかもしれませんが、自尊感情や自己肯定感を高めるような取組や働きかけをすることとともに、子どもたちの頑張りや成長を認めるような声かけをもっとすることが大切だと改めて感じました。

【学校・家庭・地域との連携について】

「気軽に質問や相談しやすい雰囲気になっている」の設問に対し、「そう思わない」「あまりそう思わない」という回答が、児童16%、保護者13%でした。子どもたちや保護者の方の話にしっかりと耳を傾けることができているのか、教職員一人ひとりが自分を振り返る機会をいただきました。真摯に受け止め、改善に努めていききたいと思います。

【その他】

自由記述欄では、たくさんの貴重なご意見をいただきました。いただいたご意見は、教職員で共通理解を図り、今の社会情勢や教育の在り方を鑑みて、本校の取組を見直し、桃山東小の教育に返していきたいです。また、学校への温かいお言葉もいただきました。いただいたお言葉やご意見を励み、よりよい学校をめざし、教職員一同努めてまいります。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。